

保護者の皆様

高槻市立三箇牧認定こども園

令和6年度 三箇牧認定こども園教育自己診断について

保護者の皆様には、平素より本園の教育・保育活動に温かいご理解とご支援ご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

また、令和6年度の教育アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。下記の通り、アンケートの結果を皆様にご報告申し上げますとともに、職員一同、今後どのように改善していけば良いのかを再度検討して、本園の教育・保育活動がより一層充実するよう、努めてまいります。

どうぞ、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【本園の教育目標】

《 温かな心と健やかな体をもつ子どもを育てる 》

【めざす子ども像】

- *健康で安全な行動がとれる子ども
- *基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- *意欲的に活動する子ども
- *友達を大切にし、温かい心をもつ子ども

*調査人数 55名 (3歳児 19名 4歳児18名 5歳児18名)

*回収数 53名 (回収率 96%)

アンケート結果からの考察

【おさんは】の項目について

アンケート評価の視点で、「思う」「ややそう思う」を肯定的評価とすると、肯定的回答の平均は、95%となりました。

①の『こども園に行くことを楽しんでいる』の設問に対して1名の方が「あまり思わない」と回答されており、未だそのような気持ちで登園していることに対して、再度日々の保育を振り返り、全ての子どもたちが楽しいと思える園生活や保育環境・保育内容について考えてまいりたいと思います。

②の『入園後ともだちとよく遊ぶようになってきた』の設問に対しては、年齢によってお答えが変わってくるかもしれません。まずは自分のしたい遊びを見つけて伸び伸びと遊び、そしてともだちを始め、いろいろな人との関わりを広げていって欲しいと願っております。

また、④の「ありがとう」「ごめんなさい」を言おうとするようになってきたと98%の方が感じておられるのは嬉しいことです。集団の生活の中での経験から子どもたちは学んでいるのでしょう。これからも子どもたちを傍で見守り、時には仲介しながらその大切さを伝えてまいりたいと思います。

『規範意識』を問う⑤・⑥の項目においては、「余り思わない」というご意見がございました。集団生活や人との関わりの中で、善悪の判断・ルールを守ること(規範意識)はとても大切なことです。こども園では、ともだちとのトラブルや遊びのルールも大切な経験と捉えております。しかしそれが良い経験ではなく、マイナスの経験になってはいけません。お子様の姿や育ちをこども園と家庭とが共有し、連携しながら見守り、育めるような関わりを今後も努めてまいりたいと思いますので、どうぞ引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

【保護者の方は】の項目について

全体を通して91%の肯定的なご意見がありました。特に⑦の「子育ては楽しい」の設問に100%の肯定的な回答がいただきましたのは大変嬉しい結果で、皆様がお子様との時間を大切に、愛情をもって子育てされていることの表れではないかと感じております。

また子育ての協力者がいる方、そうでない方がおられ、園が少しでも子育て支援の場所としてお役に立てるよう保護者の皆様にとって、もっと身近な存在でありたいと思います。

また⑪や⑫の設問では基本的な生活習慣について伺っておりますが、皆様お忙しい生活の中、基本的な生活習慣が身に付くような努力を日々されていることがわかりました。園でもご家庭と協力しながら一人一人の育ちに合った生活習慣の自立に努めてまいります。

⑬のPTA活動や保護者会への協力については、時代と共にご意見がますます多様化してまいりました。これからも形にとらわれず、皆様と一緒に子どもたちのため力を合わせてまいりたいと思いません。どうぞよろしくお願いいたします。

【こども園は】の項目について

肯定的な答えの平均は96%となりましたが、「あまりそう思わない」というご意見が随所に見られました。園教育の根本となる⑯や⑰の設問でそう思わないと思われる方がおられ、この結果については職員一同重く受け止めております。今後は『温かな心と健やかな体をもつ子どもを育てる』という本園の教育目標のもと、実体験や環境を通して、幼児期に大切な『遊びを通して学ぶ』という教育・保育内容を、お子様の姿を通してご理解いただけるよう、職員一同一人ひとりの子ども理解を深めながら、保育内容の充実に努めてまいります。

⑰の「教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝えている」に対しては4%の方があまりそう思わないとお答えでした。今年度は写真などの掲示物を通して、園の行事やお子様の姿をできるだけ多く伝えるように努めましたが、今のままでは保護者の方に伝わりにくいことを改めて感じ、これにつきましては引き続き課題として検討してまいりたいと思います。その結果が⑳の「園行事や保育活動を工夫して行っている」や㉑の「学級懇談・個人懇談の内容は有意義である」の結果にもつながっていると考え、こちらにつきましても皆様にこちらの意図とするところをしっかりと伝えた上で、ご理解いただく方法を考えてまいりたいと思います。またこちらの思いを伝えるだけではなく、皆様のそのような思いを受け、今後の行事等や懇談等内容や進め方に活かしてけるよう検討してまいりたいと思いますので、どうぞ、何かございましたらいつでも職員にお声かけください。

また、今年度、身近に自然に親しみながら様々な経験をしたいとの思いから、園庭に畑を作り、野菜の栽培活動や芋掘りなどの体験ができたことは、保護者の皆様にもご理解いただき嬉しく思います。今後も植物や生き物を試行錯誤しながら大切に育てる経験や実体験から、命や不思議、様々なことを感じ、子どもたちの学びにつなげていきたいと思ひます。

その他にも㉒の外部侵入対策の一つとして、再度、保護者や来園者の名札着用も徹底してまいりたいと思ひますので、この点につきましては、どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。

【本園を希望された理由】の項目について

たくさんのご回答をいただきありがとうございます。希望された順は、1番に、『環境が良い』、続いて『保育内容が良い』が多く、他の結果から鑑みても、保護者の皆様が幼児期の『遊び』の大切さを理解してくださっている結果と考えます。

以下、『徴収される費用等が安い』、『地域や小学校との交流がある』、『自宅から近い』『教師の質が高い』の順となりました。本園は小学校と同じ敷地内にあり、学校給食や身近に小学生の生活や姿に触れることができ、これは本園ならではの環境となりますので、小学校と連携を取りながら、共に子どもたちの育ちを見守っていきたくと思ひております。

また、本園の特徴としていろいろな地域からステーション保育でバス通園されている方が20名おられます。なかなか顔を合わす機会がない保護者の皆様にも、お子様の姿や保育内容を伝える方法を今後も模索していきたくと思ひます。

また、教師の質については最後となっているのは気になるところです。これからも環境を通じた保育の中で、子どもたちが伸び伸びと豊かな経験を積み重ね、生きる力を育てていけるよう、職員は自己研鑽を重ね、園として教師の資質向上に努めながら、保育内容の充実に努めてまいります。

今回の教育アンケートの結果を令和7年2月に園評議員の皆様にお示ししました。
結果と合わせ、皆様にご報告申し上げます。（ご意見は要約しております。ご了承ください。）

【三箇牧認定こども園の教育や保育内容・行事等、その他ご意見をお聞かせください】

◎『お子様は』について

- ・こども園に行くことを楽しんでいる」の肯定的回答が98%ととても高いことから園の先生方の日頃の努力が表れていると感じます。
- ・どの項目も「思う」と「ややそう思う」を合わせると100%に近い数値になっていることは素晴らしいことです。「約束を守って遊ぼうとするようになってきた」について「あまり思わない」が1割あることが気になります。約束を守る、時間を守ることはとても大切なことなので保護者とタッグを組んで改善して欲しいです。

◎『保護者の方は』について

- ・子育ての相談相手（協力者）がおられない方がいるので、その方達のフォローは必要ですね。
- ・「PTA活動や保護者会に協力したいと思っている」の回答については、34%の保護者が否定的回答ということで、最近の風潮を表していると感じます。
- ・「子育ては楽しい」について肯定的な回答が100%であることは素晴らしいことです。自分の子育て中は無我夢中で「楽しい」と感じたことはありませんでしたが、そう思うと現在の認定こども園は素晴らし価値を生み出していると思います。
- ・この項目は保護者のご自身を振り返るチャンスでもあります。評価が高いと子育ての自信につながりますので、甘い評価で良く、保護者の皆様の気付きになればと思います。

◎『こども園は』について

- ・「教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝えている」の肯定的回答が高く、園としての説明義務を全うできていると感心します。
- ・こちらの項目は、おしなべて評価が高いです。日頃の保育が認められているのだと思います。
- ・「話したり聞いたりする意欲や態度を育てることに努めている」については「あまり思わない」が8%と気になります。保護者と関係を深めて一緒に取り組んでいただきたいです。

◎『その他』ご意見をお聞かせください

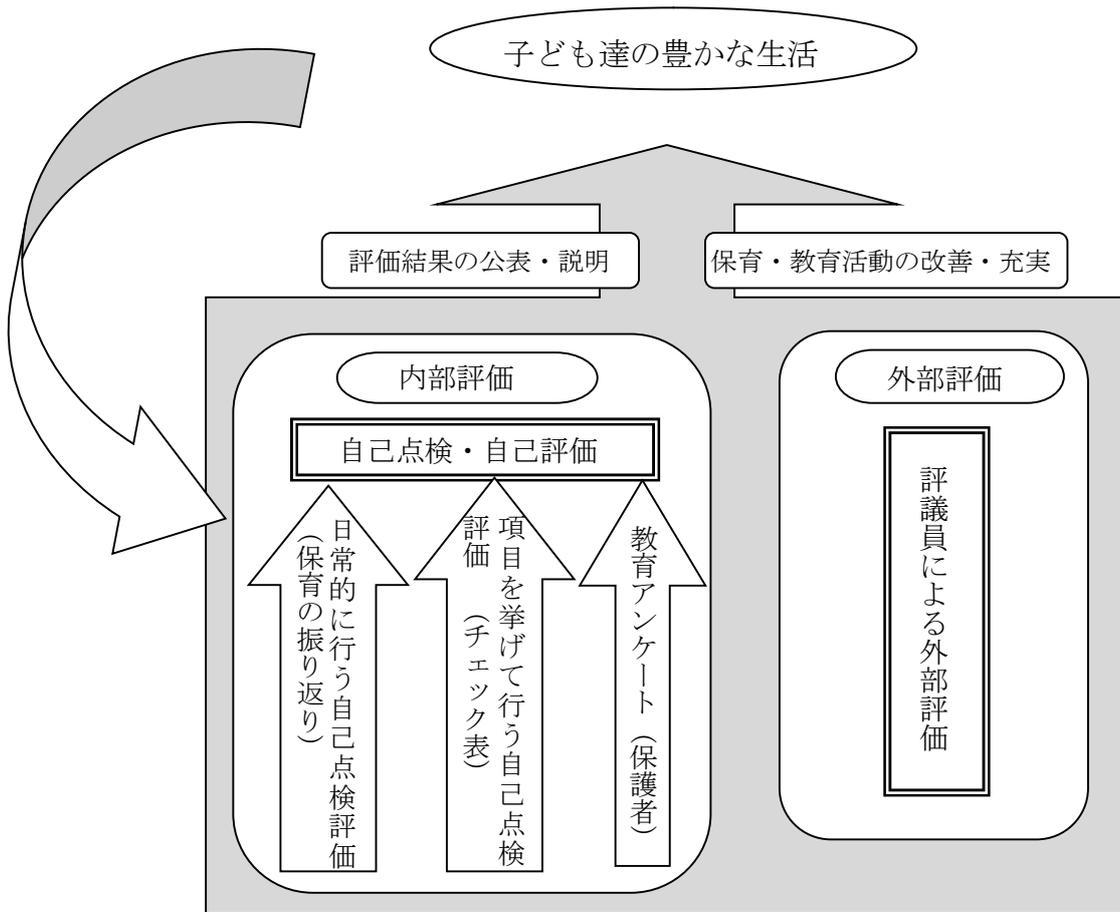
- ・異年齢児学級保育は、子ども同士の縦のつながりであり、互いに育ち合える場でもあると思いますので、これからも頑張ってください。
- ・発表会のリハーサルを見学しましたが、頑張っている姿に感動したり緊張している姿に胸が熱くなったりして、とても温かい時間でした。また終始笑顔で子どもたちに寄り添われていた先生方が眩しかったです。

評議員の皆様から、大変貴重なご意見をいただきました。ご意見からも、評議員の皆様が子どもの姿や保護者の声、こども園の教育に深いご理解をいただき、温かい見守りと共にいつも応援してくださっていることを改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからも保護者の皆様、評議員の皆様のご意見をしっかりと受け止め、一人ひとりの子どもたちにとって三箇牧認定こども園が楽しく安心安全の場となり、豊かな経験を重ねながら生きる力の大きな根っこを育めるよう、職員一同更なる保育の充実に努めてまいります。

どうぞ引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

< 三箇牧認定こども園の評価システム >



- *「子ども達の豊かな生活」を保障するために、こども園では上図のようなシステムで外部評価と内部評価を合わせて教育活動の改善・充実を目指しています。
- *内部評価には、教育アンケートなどの保護者の方からの評価や、教師自身の自己点検評価などで園全体を見直すために活用してまいります。
- *評議員による外部評価とは、園長と園評議委員の皆様で評議員会を開催し、年間行事や、子どもの日常の様子などを評価していただいています。
- *内部評価と外部評価、双方の分析・改善を行い、次年度の園目標や細やかな指導体制につなげていきます。

評議員は、学校やこども園が保護者や地域住民等の信頼に応え、協力を得るとともに、説明責任を果たし、地域に開かれた特色ある学校・こども園づくりをより一層推進していくため、園や地域の実情に応じて、PTA、地域団体、青少年育成団体、関係機関などの関係者をはじめ、教育に関する理解及び識見を有する者の内から、置くものとしています。

令和6年度 園評議員の皆様
 高槻市立三箇牧小学校 校長様
 三箇牧公民館 館長様
 元高槻市立幼稚園 園長様

